

笛吹市 議会だより

令和8年1月22日発行

2026

Vol.85

御坂中学校 新校舎完成



学年集会に利用できるフリースペース



棚が低く利用しやすい図書室



自然光と通風を生かした普通教室

12月議会・会期日程

11月25日（火） 議会運営委員会、
全員協議会

12月2日（火）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案要旨説明

12月8日（月）

●本会議 質疑および一般質問・
付託

付託

12月11日（木）～12日（金）

・各常任委員会（付託事件審査）

12月17日（水）

●本会議、議会運営委員会、全員
協議会

協議会

・訂正議案要旨説明・付託・各委
員会審査報告

・追加議案要旨説明・付託・質疑

・追加議案委員会審査報告

・討論・採決

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

9月 September

1日 通告確認会議（通告確認および許可）

2日 第3回定例会本会議（開会）、議会広報編集委員会

7日 第3回峡東地域世界農業遺産フェスティバル

9日 第3回定例会本会議（代表質問）

10日 第3回定例会本会議（一般質問・付託）

12日 常任委員会

16日 常任委員会

17～19日 常任委員会（決算認定審査）

25日 なごみの湯 竣工式

26日 議会運営委員会・全員協議会

第3回定例会本会議（最終日）、議会広報編集委員会

30日 富士見の子どもを考える会

10月 October

2日 第9回笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会

3日 関東市議会議長会・正副会長・相談役・支部長市・事務局長会議

4日 第72回甲州市かつめまぶどうまつり

7日 議会広報編集委員会

10日 社会資本整備推進山梨県議会議員連盟臨時集会

12日 市制施行21周年記念式典

14日 山梨県神社関係者大会

15～16日 関東市議会議長会、正副会長・支部長会議・第1回理事会

17日 笛吹高校視察受け入れ、会派代表者会議、議会改革委員会
消防団幹部役員と議会総務常任委員会との意見交換会

18日 山梨市制施行二十周年記念式典

20日 峡東地域広域水道企業団議会（全協）（本会議）

22日 山梨県市議会議長会正副会長・局長事務局長会議
第52回信玄公まつり実行委員会総会

24日 教育厚生常任委員会 意見交換会打合せ

甲府峡東ごみ処理施設事務組合議会（幹事会）（全協）（本会議）

桃の里マラソン大会第2回実行委員会

25日 笛吹市文化祭・第59回御坂町文化祭開祭式、境川町文化祭

26日 境川町文化祭・体育大会

28日 定例全員協議会

29日 山梨県市議会議長会第274回定期総会、石和温泉暴排ローラー活動

30日 上下水道料金値上げに係る勉強会

令和7年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会（議運）

令和7年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会（全協）（本会議）

31日 関東市議会議長会・事務局員研修会

11月 November

1日 甲州市市制施行二十周年記念式典

5日 全国市議会議長会第242回理事会、第120回評議会合同会議
全国温泉所在都市議会、第107回役員会・実行運動

6日 千葉県館山市行政視察受け入れ

7日 山梨県戦没者合同慰霊祭

8日 山梨県戦没者合同慰霊祭、いちのみや絆まつり

9日 山梨県戦没者合同慰霊祭、川中島合戦戦国絵巻

11日 笛吹川沿岸土地改良区幹事会

12～13日 3常任委員会合同研修会

14日 令和7年度山梨県明るい選挙推進大会

16日 第20回笛吹市フルーツロード駅伝競走大会・開会式

17日 質疑・質問受付開始

18日 教育厚生常任委員会意見交換会

19日 議長経験者の会研修、県と県内市長、議長との意見交換会
令和7年度第2回笛吹市都市計画審議会、笛吹地区暴力追放委員会定期総会

21日 新春交歓会打ち合わせ

23日 「日本創生に向けた人口戦略フォーラムinやまなし」

25日 議会運営委員会、議会全員協議会

26日 令和7年度税制改正に関する提言に伴う面会
笛吹市戦没者合同慰霊祭

27日 会派別意見交換会、令和7年度地方財政・金融講演会

28日 質疑・質問通告期限、通告確認会議（通告確認および許可）

令和7年第4回(12月)定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 ㊦賛成討論 ㊧反対討論
 (神宮司正人議長を除く)

種別	案 件 名	笛新会					笛政クラブ		清心会		煌・フォーラム21		公明党		無会派		結 果				
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	樋口 滝人	古屋 始芳	岡 由子	荻野陽子	落合俊美	河野正博	山田宏司	山本茂貴	三枝賢治	鈴木駿一		渡辺清美	中川秀哉	松本なつき	河野智子
条例	・ 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定																				
	・ 職員給与条例及び笛吹市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正																				
	・ 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正																				
	・ 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正																				
・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正																					
	・ 水道事業給水条例の一部改正	○	○		○	○	時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	時	
	・ 公共下水道使用料等徴収条例の一部改正																				
	・ 簡易水道等給水条例の一部改正	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
	・ 社会教育施設条例の一部改正																				
・ 火災予防条例の一部改正	○	○																			
令和7年度補正予算	・ 一般会計補正予算（第5号）																				
	・ 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）																				
	・ 介護保険特別会計補正予算（第3号）																				
	・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）																				
	・ 境川観光交流センター特別会計補正予算（第2号）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 水道事業会計補正予算（第3号）																				
	・ 市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第1号）																				
	・ 公共下水道事業会計補正予算（第3号）																				
	・ 簡易水道事業会計補正予算（第1号）																				
	・ 農業集落排水事業会計補正予算（第1号）																				
その他	・ 契約の締結（春日居福祉会館大規模改修工事（建築主体）（債務））																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市健康増進施設「いちのみやももの里温泉」）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市クリーンセンター）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市春日居児童センター、かすがい学童保育クラブ）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市境川児童館、境川学童保育クラブ）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市すずらの里）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市みさか桃源郷公園）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市八代ふるさと公園、笛吹市八代ふれあい健康広場、笛吹市リニアの見える丘・花鳥山一本杉公園）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市学びの杜みさか、笛吹市御坂生涯学習センター）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定（笛吹市スコーレセンター、笛吹市スコーレパリオ、笛吹市石和中央テニスコート、笛吹市石和農村スポーツ広場、笛吹市石和清流館）																				
	・ 公の施設に係る指定管理者の指定期間の変更（笛吹市芦川やすらぎの里、笛吹市芦川スポーツ広場）																				
	・ 動産の取得（水槽付ポンプ車購入（八代分団第1部）（明許））																				
	・ 人権擁護委員の候補者の推薦																				
	人事	・ 教育委員会委員の任命	○	○																	
	選挙	・ 新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員の選出	○	○																	

12月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、8人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問

会 派
公明党



渡辺清美
議員

問 災害予測「耳で聴くハザードマップ」導入は

渡辺清美議員

「耳で聴くハザードマップ」は、スマートフォンなどでハザードマップの内容を音声で読み上げる仕組みであり、これにより誰一人取り残すことなく防災情報を周知できる。こうした機能の導入は、さらなる防災情報の向上に寄与すると考えられるが、導入について市の見解は。

答 市単独での契約は締結できない

小林総務部長

「耳で聴くハザードマップ」は、スマートフォンなどを使って現在地や任意の地点の気象情報、標高、災害リスク、避難所までの道筋を音声で聴けるサービスであり、視覚障がい者や高齢者などが命を守るための重要情報を得やすくする有効な取り組みである。しかしこのサービスは都道府県や政令指定都市が契約対象で、本市単独では契約できないため、今後は甲府市を中心

とした県央ネットやまなしを構成する市町と協議し、県へ多言語による情報提供を含めて要望していく。

問 新総合防災情報システムは

渡辺議員

新総合防災情報システムは、各省庁、地方自治体の約1、900機関が利用し、災害対応基本共有情報に基づき情報を集約するもので、災害対応機関間における情報の利活用拡大を目指している。

①新総合防災情報システムの災害対応への効果は。

②各地域の細かな情報が書き込まれるが、個人情報等の整理は。

答 個人情報等を適切に取り扱う

小林総務部長

①県および県内市町村が使用する山梨県総合防災情報システムが国のシステムと接続しており、被災状況を国と県で共有。国は被災自治体からの被災情報に加え、関係機関からの断水や道路の通行規制状況などの情報を地図上に可視化し、災害対応全体の把握を支援する。②個人情報保護法や内閣府指針に基づき、個別避難計画の作成や避難情報発令、避難誘導、安否確認などの際に個人情報を適切に管理・活用する。

派
会
笛政クラブ



荻野陽子
議員

問 本市の子どもの貧困対策は

荻野陽子議員

①過去5年の生活保護および準要保護世帯の子供の人数と課題は。

②子ども食堂等の食料費を補助対象とすべきと考えるが、市の見解は。

③「笛吹こどもの食料・生活用品支援ネットワーク事業」の実績、継続されている事業は。

④支援が届きにくい子どもの把握方法やアプローチは。

⑤貧困対策で、18歳までの切れ目のない支援に各担当課の連携は。

⑥こどもの貧困対策および貧困の連鎖に対する予防的支援等で、今後予定している施策は。

答 継続的に支援を続ける

田中子供すこやか部長

①いずれも同水準で推移しており、生活支援や教育支援の強化が課題。

②笛吹市地域づくり市民活動応援補助金は、経常的な活動に要する費用

は補助対象外としている。こども食堂の食材に関する材料費などは、継続的に発生し、消耗的かつ反復的な支出で、本補助金の補助対象外。

③過去2年半で企業・市民から25件の寄付を得て子育て世帯へ支援。寄付者と支援団体をつなぐサポートを継続する。

④関係機関と連携して生活状況に課題のある子どもの早期把握に努めている。市の担当者や家庭相談員が保護者や子どもと面談を行い、継続的に支援続ける。

⑤笛吹市子ども家庭センターが中心となり、各課が横断的に連携し、給食費等の無償化、子どもすこやか医療費助成事業、ひとり親家庭医療費助成事業、生活困窮者自立支援事業など、自立した生活基盤づくりに向けた支援を行っている。

⑥令和8年度は、子どもの居場所づくりを行う団体等への補助を予定。地域の支援体制を強化し、子どもが一人でも安心して過ごし、無料または安価で利用できる地域の居場所を増やして、子どもや親の孤立を予防する。居場所では、食事や勉強、未知の体験など、人との出会いや経験から未来への夢を抱き、貧困の連鎖を断つきっかけになる。支援が必要な子どもを早期に見出し、事業の周知と支援団体への働きかけを行う。

派
会
煌・フォーラム21



鈴木駿一
議員

問 市民通報システムは

鈴木駿一議員

①通報対象を限定しているが、現在までの項目ごとの合計通報件数は。

②現在までの維持管理費は。

③①と②を踏まえ、システムの費用対効果は。

④さらなる有効活用を図るべきだが、見直しの検討は。

答 活用しやすいシステムを検討

太田市民生活部長

①令和4年度8件、令和5年度17件、令和6年度33件、令和7年度22件、合計80件。道路陥没38件、水路側溝の蓋の損壊13件、公園施設の破損3件、防犯灯球切れ14件、カーブミラー破損12件。

②令和4年度は72万6千円、令和5年度および6年度は158万4千円、7年度は144万1千円。

③システム使用料など一定の費用がかかるが、通報により不具合の早期発見や危険箇所の未然防止に効果を

発揮。情報は統合型GISで一元管理され、道路台帳や航空写真と通報場所を地図上で重ね合わせることで、業務改善に大きく寄与し、費用対効果が高い。

④今後、通報対象項目の追加を含め、一層活用しやすいシステムとなるよう検討する。

問 市内空き店舗および空きテナントの改修は

鈴木議員

①補助金交付要綱に基づくこれまでの出店件数、業種、出店地区は。

②補助金の制度設計の見直しは。

③創業意欲のある若者に市に出店してもらうため加算等の制度追加は。

答 制度を見直し賑わい創出につなげる

河野産業観光部長

①石和地区10件、八代地区1件、合計11件。業種は、定食店8件、ラーメン店1件、焼肉店1件、おにぎり店1件。

②補助対象業種の拡大など、より利用しやすい補助制度となるよう見直しを行い、賑わい創出につなげたい。

③近隣他市と比べても補助率は高く有利な制度となっているため、加算は考えていない。今後も関係機関と連携し、きめ細かな創業支援を行う。

会 派
煌・フォーラム21



三枝賢治
議員

問 鳥獣害被害の現状と対策は

三枝賢治議員 ①過去3年間の鳥獣害の被害件数、被害多発地域、児童生徒の登下校の安全対策は。
②個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理、今後の課題は。
③センサーカメラ等ICT技術を活用した新たな対策の導入状況は。
④猟友会等関係者との連携体制や捕獲までの仕組みは。

答 環境の整備を図る

河野産業観光部長 ①件数は積算方法の定めがない。被害多発地域は中山間地域。登下校時の安全対策は、保護者への情報周知と教職員の付き添いなどの実施。
②個体群管理は、毎年、計画頭数を捕獲。猟友会員の人員確保が課題。侵入防止対策は、獣害防止柵の設置等を補助。獣害防止柵の維持管理が課題。
③遠隔監視可能な罠の設置など、

問 地域経済の現状と人材確保は

ICT技術を活用した機器を導入。
④市は、通報を基に捕獲許可を受けた猟友会員に捕獲、駆除を依頼。

三枝議員 ①観光業の人手不足に対する現状認識と現在の取り組みは。

②人手不足が品質維持や誘客促進に与える影響と今後の対応は。
③農業分野の担い手確保と後継者育成に向けた取り組みは。
④農業の魅力発信や啓発活動の実施状況、人材育成の取り組みは。
⑤「特定地域づくり事業協同組合制度」導入の考えはあるか。

答 担い手確保、育成に取り組む

河野産業観光部長 ①②人手不足は重要な課題で、誘客に影響するため、人材確保に向け、高校生を対象とした企業説明会を実施している。今後、求人支援の実施も考えている。
③新規就農後継者支援事業を実施。
④世界農業遺産に認定されたことを活用した魅力発信や、農業塾による人材育成に取り組んでいる。
⑤本市でこの制度を活用する予定はないが、先進自治体の取り組みを研究していく。

会 派
新会 笛



樋口 滝人
議員

問 中学生英語力向上への施策は

樋口滝人議員 英検の創設者赤尾好夫氏（現石和町中川出身）を英語教育の旗印に掲げ、若者が国際社会の一員として活躍してもらいたい。

①英語教育の現状は。
②赤尾翁の大きな遺産を市は尊重し、成果を得るための方策は。
③フィリピン人のALT（外国語指導助手）採用の費用詳細と効果は。
④県採用英語教師能力向上具体策は。

答 英語力の向上を
着実に進める

手塚教育部長 ①英検の取得率が低い状況。英語に慣れ親しみ、関心を高める取り組みを進める必要がある。
②英語力向上の成果を得るための一つとして、市内全中学校で英検受験の環境を整えるなど、児童生徒が英検を積極的に受験できるような環境や仕組みを構築し、英検取得者の増加を目指す。
③ALTの人件費のほか、ALTの

問 可燃ごみステーションの増設は

資質向上のためのフォローアップや研修などの支援、課外活動などを活用した市独自の取組のための支援、ALTの日常生活全般に係る支援などの管理業務の委託料を合わせて、ALT一人当たり費用は約713万円、他自治体の実績から、効果に大きな期待を寄せている。
④新たに採用するALTを活用し、実践的な英会話研修を3回以上開催。

樋口議員 ①ごみ集積場の地域間格差と制度の硬直性についての評価は。

②旧町格差の把握と是正方針は。
③個別申請方式導入の検討は。
④統一ごみボックスの導入と助成は。
⑤ごみ収集業者の契約減額見直しは。

答 収集運搬体制を検討する

太田市民生活部長 ①②社会状況の変化に応じた効率的な収集運搬体制を検討していく。
③可燃ごみ集積所の管理は、原則、行政区単位としているため、個別申請方式を導入する考えはない。
④維持管理の負担や課題が多く、現時点で導入の考えはない。
⑤社会情勢や業務量の変動を踏まえ、毎年度適正な単価契約に努める。

党派
日本共産党



河野智子
議員

問 上下水道料金の改定は

河野智子議員 新型コロナウイルス

の感染拡大により料金改定は見送られた。上下水道事業審議会による審議の結果、20%増額の料金改定を令和8年4月から行うよう答申された。

- ① 経済状況回復傾向の根拠は。
- ② 多くの市民の声を聴く考えは。
- ③ 事業で基準内繰り入れは何か。
- ④ 施設更新等の費用は一般会計からの繰り入れで賄うべき。
- ⑤ 水道代の値上げは痛手、対策は。
- ⑥ 物価高騰には未改定が一番の対策。

答 独立採算が原則

佐藤公宮企業部長 ① 国内景気を示

す景気動向指数などから判断した。

- ② 上下水道審議会の答申は、幅広い市民の声を反映していると判断している。
- ③ ④ 地方公営企業は、独立採算が原則であるため、消火栓の設置費用などの基準内繰入は行っているが、水

道管や施設の更新に係る費用は基準内繰入に該当しないため、繰入は考えていない。

- ⑤ ⑥ 社会基盤を維持するため、苦渋の決断として料金改定を決定した。国や県の動向、社会情勢を注視しながら、市民生活の支援に必要な施策を実施。

問 夏休み中の子どもへ
食事提供は

河野議員

① 長期休暇後に体重が減る子どもについて把握しているか。

- ② フードバンクに委託し支援が必要な家庭に食品等を送っているが、何世帯に送ったのか。中身はどうか。
- ③ 子ども食堂を行っている団体数の把握は。また、団体に対する支援は。
- ④ 給食センターでの食事提供は。

答 食事提供の機会を拡充

田中子供すこやか部長

① 今年度の夏休み後の発育測定では、特に気になる児童生徒はいなかった。

- ② 支援が必要な子育て世帯約200世帯に、米等の食料品を届けた。
- ③ 市が把握している団体数は15団体。補助金交付などの支援。
- ④ 学校給食センター等での調理は学校給食が対象。令和8年度に新規事業で食事提供の機会を拡充していく。

無会派



松本なつき
議員

問 市内道路の安全対策(蓋掛け・転落防止)の早期実施は

松本なつき議員

市には開放された道路側溝や農業水路が各所に残り、転落リスクが高い箇所が点在する。市内全体で安全対策の加速が必要で、その一例として石和町の市道1-25号線や御坂町の「みさかの湯」周辺の市道区間では、歩道が20cm程度しかなく、通学路として児童生徒の通行が多い一方、沿道には物流・工業系事業所が複数所在し、大型車の通行も常態化しており危険度が高い区間がある。

① 安全性を確保する対策として、路面に塗装する「30」などの速度表示は公安委員会が管轄のため市が独自に行えないが、立体的に見える減速マーキングであるイメージハンプは、通過時の騒音もなく通行する車体や歩行者にも悪影響がなく、他の自治体でも大きな効果が出ている。低コストかつ即効性のある対策として、市での実施を求める。

(ア) 消えかかっている白線の補修。

(イ) 暗い箇所の照明追加は。

(ウ) 立体的に見える減速マーキング(イメージハンプ)など速度抑制は。

② 実施場所は現場の状況を見て判断する必要がある。市の見解は。

答 緊急性が高いものから
実施

島村建設部長

① (ア) 視認性が低下している区画線は、交通状況などの優先度を勘案し順次補修を実施。緊急性の高い箇所は、速やかに対応を行っている。

(イ) 道路交通安全を図ることを目的とした道路照明は、国の基準に基づき、交差点等に設置。犯罪・事故防止を目的とした防犯灯は、地域からの要望などを踏まえ設置している。

市では、市道1-26号線および農道4-2020号線の全長1.7kmにわたり、全38基の防犯灯を設置した。

(ウ) 注意喚起による一定の速度抑制効果を確認しており、今後も交通状況や地域の要望を踏まえ、必要な箇所への設置を検討していく。

② 行政区からの地区要望は、評価細目表に基づき、通学路の指定の有無、道路の幅員等、11項目を点数化し、70点以上のものを実施している。通学路は「通学路交通安全プログラム」に基づき合同点検を行い、緊急性が高いものから実施。

会 派
公明党



中川秀哉
議員

問 子どものインフルエンザ
ワクチン接種の公費助成は

中川秀哉議員 子どもにインフルエ

ンザワクチンを接種させるには、多額の費用負担が気になる。特に6カ月〜13歳未満の子どもには2回の接種が必要で、一人当たり毎回6〜7千円の出費となり、とても大きな負担だ、との相談が多数ある。

- ①重症化しやすい年齢とリスクは。
- ②インフルエンザ感染状況と対策は。
- ③関係機関との連携の可能性は。
- ④子どものワクチン接種公費助成は。

答 国の動向を注視する

岩間保健福祉部長

①高齢になるほど重症化しやすい傾向がある。高齢者や免疫力の低下している方は肺炎を子どもはまれに急性脳炎を引き起こすリスクがある。

②感染拡大防止のため庁内各課に係団体や関係機関への注意喚起を依頼したほか、市の広報紙やHPで感染対策について市民に周知している。

- ③医療が逼迫した際には、峡東保健所と連携し、広域的に医療の確保を図る。
- ④定期予防接種に位置づけられるなど、国における取り扱いが変更となった際に検討する。

問 社会体育施設管理を伺う

中川議員 平常時間外および土日祝

祭日の施設管理を第三者が管理することに對し、施設利用者から改善を求める相談がある。

- ①これまで利用者からの意見・要望などがあるか。
- ②第三者が時間外勤務する場合の対策は。
- ③社会体育施設の管理マニュアルは。

答 マニュアル作成、
管理者と共有

手塚教育部長

①指定管理者に対し事実確認を行い、市民サービスの向上を最優先に、夜間管理業務における対応の在り方について改善を図るよう指導した。

②③施設利用者に提供されるサービスが一定の水準を保つよう、施設の管理運営に関する手順や窓口対応をまとめたマニュアルを作成し、指定管理者と共有していく。

笛吹市消防団出初式

1月4日、笛吹市消防団出初式が盛大に開催されました。式典では、消防活動の功績をたたえる表彰や消防団の車両展示が行われ、地域の防災力の強化に向けた強い決意が示されました。

式典には議員全員で出席し、代表して神宮司議長が、「消防団員の皆様は、生業を持ちながらも、市民の生命と財産を守るため、日夜活動を続けておられますことに対し、心から敬意と感謝の意を表します」と述べ、消防団員への感謝を伝えました。



行政視察研修受入

令和7年、笛吹市議会には、各地から地方議会関係者が行政視察研修のため訪れました。AIを活用したデマンド交通システムや災害時の防災対策など、笛吹市の先進的な取り組みを学び、意見交換を行う貴重な機会となりました。その成果についてご紹介します。

韭崎市議会（令和7年1月10日）

韭崎市議会総務産業常任委員会の委員の皆さまが、笛吹市のAIデマンド交通「のるーと笛吹」をテーマに行政視察研修のため来庁されました。笛吹市議会からは山田総務常任委員長が歓迎のあいさつを述べ、総合政策部企画課が研修内容の説明を担当しました。

「のるーと笛吹」は地域住民の移動支援を目的とした次世代交通サービスであり、AIを活用して利用者の需要に柔軟に対応するシステムです。韭崎市の委員の方々からは、「地域の課題解決に役立つ先進的な取り組みである」「自市でも導入できるよう研究したい」との意見が出ました。この視察を通じ、今後の地域交通施策の発展に対する期待が高まりました。



埼玉県八潮市議会（令和7年3月26日）

埼玉県八潮市議会自民クラブの皆さまが「災害時の対策」をテーマに視察研修のため笛吹市に来庁されました。笛吹市議会を代表して神宮司議長より歓迎のあいさつがあり、総務部防災危機管理課が具体的な防災対策や体制概要について説明を行いました。

笛吹市の防災体制は自然災害のリスクに対応し、市民の安全を守るための体制強化を図っています。視察団からは、「災害対策の具体的な手法や住民参加を促す工夫が参考になる」という声が寄せられ、活発な質疑応答が交わされました。双方にとって防災施策向上に資する貴重な情報交換の場となりました。



千葉県館山市議会（令和7年11月6日）

千葉県館山市議会の新政クラブ、緑風会、青海原、日本共産党の皆さまが防災アプリ「防災ふえふき」および「マイ・タイム・ライン」をテーマに行政視察研修に訪れました。笛吹市議会からは神宮司議長、山田総務常任委員長がともに歓迎のあいさつをお伝えし、総務部防災危機管理課がアプリのシステムや運用のポイントについて説明しました。

マイ・タイム・ラインは、市民が自身の避難計画を立てやすくし、防災アプリと活用することにより、災害発生時の情報伝達を迅速化することが可能です。館山市議会の皆さまは、「ぜひ自地域導入の参考にしたい」という高い関心を示されました。



3 常任委員会合同視察研修会報告

～鎌倉・横須賀の先進事例に学ぶ～

11月12日から13日にかけて、3常任委員会合同で行った視察研修会についてご報告します。今回の研修では、鎌倉市および横須賀市の先進的な取り組みを視察し、特に子ども議会事業や生成AIの業務活用に焦点を当てました。今後の議会活動に生かせる取り組みが多く得られました。

鎌倉市における子ども議会の課題と改善

近年、主権者教育の一つとして注目されている子ども議会について、鎌倉市教育委員会から説明を受けました。従来は、市議会の模擬体験としての要素が強く、子どもたちが能動的に意見表明を行う場としてはまだ十分とは言えない状況でした。主な課題は準備期間の短さにあり、子ども議員が議案を検討する際に、学校全体で共有・議論する時間が確保できないこと、また、各行政課の答弁作成も慌ただしいことが挙げられました。

これに対して、令和7年度からは本会議場の使用を開始し、中学生が実際に議会運営を体験できるようになっています。前年度の11月から準備期間を設けたことで、代表生徒だけでなく、学校全体で意見を練りあげ発信する体制が整い、学校教育との連動性が高まる効果を上げています。これにより子どもたちの主体性がより発揮されると期待されます。

特に小学生の部では、市長体験とセットで実施し、市長や教育長と直接意見交換できる時間を設けたことが特徴的です。これにより、子どもたちの日常生活感や率直な意見を行政に届ける有意義な場となっています。



横須賀市における生成AI「チャットGPT」の導入

横須賀市の視察では、業務効率化に向けたチャットGPT等の生成AIの実務導入について説明を受けました。これらのツールを積極的に活用することで、市職員の残業時間削減や業務内容の効率化に成功し、市民サービスの向上にもつながっているとのことでした。

生成AIを利用することで、情報検索から文書作成に至るまで多様な業務がスムーズになるため、職員は本来の政策検討や市民対応により集中できる環境が生まれています。最新技術の導入事例を通じて、本市での生成AI導入により業務効率化が図られることについて、あらためて認識を共有しました。



今回の合同視察研修会は、子ども議会事業の質向上と先進的なIT活用の両面で貴重な学びが多かったと感じています。令和7年度からの新たな取り組みは、議会をより開かれたものにし、市民の声を政策に反映する可能性を高めるものです。今後もこうした先行事例を参考に、笛吹市議会では地域の特性に即した議会のあり方を模索していきます。

総務常任委員会

委員長 山田 宏司 副委員長 三枝 賢治

委員 岡 由子 荻野 謙一
保坂 利定 中川 秀哉

12月11～12日、17日の3日間委員会を開催。条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算、指定管理者の指定、動産の取得などを審査し、原案の通り可決すべきものと決した。



総務常任委員会審査の様子

今回の総務常任委員会所管では、条例改正については上位の法令改正によるもの、補正予算については人事院勧告に伴う人件費の増額、公の施設に係る指定管理者の指定などが主なものであった。

総務常任委員会

意見交換会

令和7年10月17日

● 笛吹市消防団

市議会では、議会基本条例に基づき、条例制定後、報告会・意見交換会を開催してきました。

今年につきましては、活動に伴う課題等について伺い、より良いまちづくりの参考とするべく、総務常任委員会では笛吹市消防団幹部役員の皆さまとの意見交換会を開催させていただきました。笛吹市消防団からは、団員の確保が難しくなっていることについて地域の潜在的な団員候補の把握、幹部役員のなり手不足、芦



消防団幹部との意見交換会

川地区団員の高齢化などの課題などがあること、委員からは火事等の現場での団員の装備の充実、団員報酬や機能別消防団員についての現場の声など、多くの話題が出され、意見交換を行いました。幹部消防団の皆さまの「地域のこれからの消防団が誇りを持って活動できるような体制を」という思いをしっかりと受けとめて、今後の議会活動・委員会活動に生かしていきます。

議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページで会期日程・質問内容（表題）を公開しています。

2月 20日(金)	午後1時30分～	市長施政方針・議案説明
27日(金)	午前10時～	議案に対する質疑および代表質問
3月 3日(火)	午前10時～	議案に対する質疑および一般質問・付託
4日(水)	午前10時～	議案に対する質疑および一般質問（予備日）
12日(木)	午後1時30分～	各委員会の審査報告・討論・採決
24日(火)	午後1時30分～	各委員会の審査報告・討論・採決

※日程などに変更がある場合もあります。 ※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。 ※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継をご覧いただけます。

教育厚生常任委員会

委員長 神澤 敏美 副委員長 荻野 陽子

委員 山本 茂貴 河野 正博
河野 智子 渡辺 清美

12月11～12日、17日の3日間委員会を開催。条例の制定、条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、契約の締結、指定管理者の指定、指定管理者の指定期間の変更等を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈教育委員会所管〉

Q 小中学校ICT環境更新事業の委託料について、より詳しい説明を求める。

A 導入当時のアクセスポイントが現在も使用しているが、現行のネットワーク速度では遅いため、現行のアクセスポイントの調査および更新のための設計を行うもの。また、設計費に使用できる補助金が今年度で終了することから、業務委託を今年度中に完了する必要があるため、この時期に補正するものである。

【意見】

小中学校ICT事業で配



教育厚生常任委員会審査の様子

布されたタブレット端末を学校施設等で使用する際に、ネットワーク速度が遅いという話は子どもから何年も前に聞いていた。ネットワーク速度が遅いことは、子どもたちの学習環境に影響を及ぼすことから、補助金等の有無に関わらず、迅速に対応するべきではないか。

【継続審査】

「訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書」は、継続審査となった。

教育厚生常任委員会

意見交換会

令和7年11月18日

● 笛吹市シニアクラブ連合会

笛吹市シニアクラブ連合会は、多様な活動を通じて地域の高齢者に生きがいを提供しています。健康づくりや趣味のサークル活動、ボランティア活動など、幅広い分野で日々積極的に取り組んでいることが意見交換会で報告されました。これらの活動は単に高齢者の健康維持を助けるだけでなく、地域社会全体の活性化にも寄与しています。



シニアクラブ連合会との意見交換会

を入れており、世代を超えた交流の場ともなっています。これにより、異なる年代間のコミュニケーションが促進され、地域の絆が一層深まる効果が期待されています。意見交換会では、こうしたイベントが参加者にとって楽しいものであり、地域全体のつながりづくりに貢献している点が強調されました。

一方、会員数の減少が運営上の大きな課題となっていることも明らかになりました。活動やイベントの準備、運営に支障がはじまっているため、今後は新規会員の獲得や活性化策が求めら

れています。教育厚生常任委員会とシニアクラブは、広報活動の強化や若年層へのアプローチ方法について意見を交わし、課題解決に向けた協力体制の構築を模索しています。

シニアクラブの活動は「高齢者の生きがいづくり」という範囲を越え、幅広い世代が交流できる「地域の大切な資源」であることが改めて認識されました。今後も会員数の減少という課題と向き合いながら、多様な世代が楽しめる場としての役割を果たすべく、取り組みが進められることが期待されるとの意見がありました。

● 笛吹市スポーツ協会

笛吹市では、近年の人口

減少に伴いスポーツに参加する人口も減少傾向にあります。この減少は地域全体の競技力低下に直結し、スポーツ活動の持続的な発展を危うくしています。特に若年層の減少は、学校の部活動の存続にも影響を与えており、多くのクラブが維



スポーツ協会との意見交換会

持困難な状況です。指導者不足や教員の多忙化も重なり、運営は一層困難になっています。こうした現状を踏まえ、地域全体で子どもから高齢者までスポーツを楽しめる環境の整備が急務となっています。

笛吹市スポーツ協会では、軽スポーツを中心に手軽に取り組めるスポーツ活動を推進し、スポーツ愛の底上げを図る取り組みが進められています。具体的には、ラジオ体操を通じて、地域住民全体が気軽に参加できるイベントとして期待され

ています。こうしたイベントを通じてスポーツへの親しみを高め、地域コミュニティの活性化を目指しています。また、地域や保護者、学校、行政が一体となって部活動の地域展開を支援する方針も示されており、スポーツの裾野拡大を図っています。

施設面では、スタジアムなどの競技場が不足しており、既存の体育施設もほとんどが20年以上前に建設されたものです。これらの施設の老朽化は市のスポーツ振興にとって大きな課題です。一方で、温泉地という

地域の特徴や中央道・JR中央線の交通利便性を活かし、スポーツツーリズムの推進が見込まれています。

スポーツを楽しむ観光客の誘致や、スポーツ選手のリハビリ施設としての活用も地域経済の活性化につながる可能性があります。これらの課題解決に向けて、市と関係機関が連携を深めながら充実した施設整備を進めていくことが期待されるとの意見がありました。

● 笛吹市文化協会

笛吹市文化協会は、市内6つの地域支部を通じて文化祭や芸術祭といったイベントを開催し、市民に豊かな文化体験を提供しています。これらのイベントは多くの地域住民が参加し、交流の場としても機能していることから、地域コミュニティの活性化に大きく貢献しています。文化協会の活動は単なる趣味の枠を超え、地域文化の継承と発展に欠かせない存在となっています。

一方で、現在の会員の多くは80代から90代と高齢化が進んでおり、役員の引き継ぎやパソコンを使った事務作業に苦労が見られます。若い世代の参加が限定的な中、将来的に活動を維持できるか行政や協会内部でも危惧されています。にもかかわらず、会員からは文化活動を「第2の人生の楽しみ」として生きがいを感じている声が多く聞かれ、文化協会活動の重要性は変わ

っていません。

笛吹市は健康寿命が全国トップクラスで、その背景には農業など定年のない仕事とともに生涯学習の充実があります。こうした環境が高齢者が無理なく文化活動を続ける基盤となっています。意見交換会では、行政と文化協会が連携し、デジタルサポートや若手会員の育成などの支援体制を強化していくことで、より充実した活動の継続を図ることができるとはならないかとの意見がありました。



文化協会との意見交換会

建設経済常任委員会

委員長 落合 俊美 副委員長 鈴木 駿一

委員 樋口 滝人 松本なつき
古屋 始芳 海野利比古
神宮司正人

12月11～12日の2日間委員会を開催。条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、指定管理者の指定などを審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈産業観光部所管〉

Q 芦川グリーンロッジ旧館の解体工事の詳細について説明を求める。

A 建物の面積は456㎡で、構造は鉄骨平屋建てであり、解体費用は過疎対策事業債を充てる。

Q 所管課を移管したことによる効果の説明を求める。

A これまでの利用者の多くがスポーツ団体、スポーツ少年団で、施設の利用が夏場に偏っていたが、地域の豊かな自然を生かして、

観光施策と連携した活用を図り、今まで以上に地域の活性化に役立てることができると答へる。

〈建設部所管〉

Q これまでの指定管理料に比べて、令和8年度から令和12年度までの指定管理料が、増額となっている理由について説明を求める。

A 人件費、物価の上昇および電気料の値上がり等を経て、指定管理の箇所が代わ

ったことによる遊具および植栽の増加や、樹木が大きくなったことによる管理料の増額である。

【付帯決議】

「笛吹市水道事業給水条例の一部改正について」
「笛吹市公共下水道使用料等徴収条例の一部改正について」
「笛吹市簡易水道等給水条例の一部改正について」に対し、全会一致で付帯決議を付することに決した。

1、国の進める総合経済対策に則り、重点支援地方交付金を活用した物価高騰に対する取組について可及的速やかに実施すること。
2、重点支援地方交付金を活用した取組と合わせて、本市独自の物価高騰に対する取組を実施すること。
以上、決議する。

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦【可決】

飯島 茂（春日居町小松）

任期 令和8年7月1日から3年間

教育委員会委員の任命【同意】

古屋 修二（春日居町桑戸）

任期 令和8年1月1日から4年間

新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会

議員の選挙【当選】

田中 徳広（芦川町鶯宿）
宮川 博人（芦川町鶯宿）
宮川 武仁（芦川町鶯宿）
宮川 智秋（芦川町鶯宿）

任期 令和7年12月27日から4年間



建設経済常任委員会審査の様子

議会を学ぼう

～聞きたい知りたい議会の仕事～

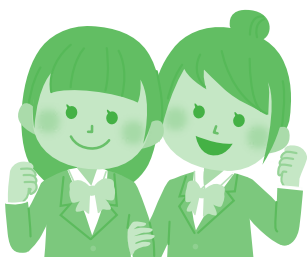
10月17日、笛吹高校の生徒たちが笛吹市議会に来庁し、視察研修を行いました。生徒たちは、市議会の役割や議員の仕事、議会の仕組みなどを丁寧に学び、議場の雰囲気も実際に体験しました。本記事では、その学びの様子と議会の基本についてご紹介します。

市議会とはどんなところ？

市議会は、市民の代表である議員が集まり、市の運営に関する重要な決定を行う場所です。笛吹高校の生徒たちは「議会って何をしているの?」という素朴な疑問からスタートし、市議会の基本的な役割を学びました。条例の制定や予算の承認、市の方針決定など、市民生活に密接に関わる重要な仕事を担っていることに、皆興味深く耳を傾けていました。



笛吹高校視察研修の様子



議員とはどんな人たち？

議員は市民の代表として選ばれ、市議会で市の未来を話し合います。研修では、議員の多彩なバックグラウンドや日常的に行っている活動内容についても触れました。生徒たちは、「議員になるにはどんな準備が必要か」「どんな考えで活動しているのか」を知ること、自分たちの将来の選択肢として考えるきっかけとなったようです。

議会の仕組みと動き方を学ぶ

議会は定例会を中心に進行し、各種案件を慎重に審議します。生徒たちは定例会の進め方や、より専門的な検討を行う委員会の役割についても学びました。また、議場の見学では、議長席や議員席などの配置や発言の流れを実際に体感し、議事がスムーズに進むための工夫を理解しました。こうした体験を通じて、議会が市民の声を反映させる重要な場であることを実感できました。



【まとめ】

今回の視察研修は、笛吹高校の生徒たちにとって市議会の役割や仕組みを具体的に理解する絶好の機会となりました。これからも若い世代が政治や地域づくりに関心を持ち、市民としての自覚を深めていくことを期待しています。

継続・挑戦そして感謝



春日居町下岩下
市川 隆広さん

に毎日走っています。
走ることによって心身を整え、充実した時間を過ごすことができます。

最近、山梨県一周駅伝の五十代区間に出場させていただきました。笛吹市チームは総合五位となり、仲間と走る楽しさを実感し、さらにレベルアップをしていきたいと思いました。

私にとって走ることは、生活を支える大切な習慣です。学生時代から続く長距離走のおかげで、今も仕事の前後

これからも、走れることへの感謝を忘れずに、自分のペースで挑戦を続けていきたいです。

食べるを意識して



御坂町下野原
弦間 香さん

「うー目にしみる」「この味いいかな」「包丁さばきうまいね」私は食生活改善推進員として、先日笛吹高校

3年生と食について学ぶ機会があり、その時の会話です。
食事はお腹を満たすだけではなく、特に朝食は身体を目覚めさせ一日のやる気の源となること、コンビニや外食利用の際の野菜の摂り方、ラーメンに含まれる実際の塩分量を見てビックリ。
「食えること」を意識するのは幅広い世代が健康寿命を延ばすために必要不可欠なことだと思います。高校生も、ずいぶん前に高校生だった私達も。

表紙説明

1月9日、御坂中学校新校舎が共用開始となりました。
フラットな昇降口やエレベーターを設けるなどバリアフリーに対応。フリースペースを設け、機能的な学び舎となりました。

編集後記

寒さが本格的になり、空気の乾燥が気になる季節となりました。市内では多くのクラスで学級閉鎖になるほどインフルエンザが猛威を振るっており、身近なところで影響が出ています。手洗いやうがいなどの基本的な予防を心がけ、体調管理に十分ご注意ください。

また、昨年一月には大蔵経寺山で火災が発生し、防災について改めて考えさせられました。乾燥する時期は、ちょっとした不注意が大きな被害につながることもあります。日ごろからの火の取り扱いや非常時への備えなど、一人ひとりの意識が大切だと感じます。

本号の議会だよりでは、市政の取り組みや議会の様子をお伝えしています。少しでも皆さまの暮らしの中で身近に感じていただければ幸いです。これからも、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを努めてまいります。

寒さは続きますが皆さまが元気に、笑顔で過ごせる日々となることを願っております。

議会広報編集委員

松本なつき